

34件で計算ミス

17年以降、宇都宮市

宇都宮市は1日、市が2017年3月以降に発注し公共建築工事34件の費用算額に計算ミスがあったと発表した。うち26件既に工事が完了。残り8も着工しており、関係者了解を得て工事は継続するという。

市によると、工事は学校生涯学習センターの施設改修など。国の積算基準直しに伴い、市も17年3

算。本来より1件当たり数十万〜数百万円低く算出した。

発注は入札方式で、ミスがなければ落札できた事業者がある可能性がある。市は入札に参加した全45事業者に事情を説明し、理解を得たという。

市は管理監督職だった複数の職員を9月30日付で「訓告」とした。再発防止に向け庁内組織を既に設置。計算ミスは庁内のチェックで発覚したという。

た功績は大きい。できるりの手だてをしてあげた」と述べた。

歌は現在自力で飛べる、飛行中に左足が不自然垂れ下がっている。市によると、兵庫県立コウノトの郷公園の専門家に写真送ったところ「ほぼ確実に骨折している」との見立だった。自然治癒の見込みはなく、放置すると脚が落ち、死に至る可能性があるという。

このため市は、コウノトの飼育施設や野生復帰事に取り組む専門機関の助を得て保護に取り組むこ

とにした。歌は警戒心が強いため、まずは餌付けして1カ所に定着させ、網で捕獲することを検討している。歌が市外に出たとしても、遊水地を囲む4市2町内であれば専門機関の協力が得られることになっているという。

(宗像信如)

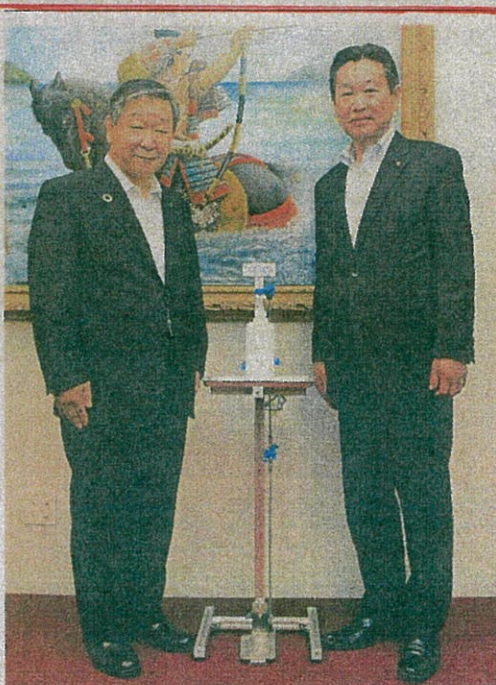
同業者より1件減りながら自転車事故に遭った高齢者は18人で10人増加した。負傷者数は8人減の129人。取り締まり件数は341件減の3884件だった。

談話室

○：新型コロナウイルス感染予防に役立ててほしいと、大田原市下石上に工場がある自動車部品製造の京浜精密工業（横浜市）は1日、足踏み式の消毒液ポンプスタンド5台を同市に寄贈した。

○：ものづくり技術を生かして地域に貢献しようと開発した。ペダルを踏むと上部の消毒液のポンプが押される仕組みで、直接手を触れずに利用できる。

○：石川清隆大田原工場長（57）「写真右」が市役所を訪れ「軽く踏むだけで良く、子どもや高齢者も使いやすい」などと説明。5日には工場がある鹿沼市にも5台を寄贈する。



故障しても！
栃木県内どこでも
無料出張！現金買取！
※一部高額買取の場合振込とすることがあります。